



10期（昭和34年3月卒業）

■監督

近藤 三郎

（※監督に関しては、夏季岐阜県大会時を表記しております。）

■マネージャー

—

■選手数

10人

氏名	出身中学
石原 紀夫	伊奈波
小川 喜通	長良
小野 彰二	伊奈波
笠原 芳威	伊奈波
沢野 亘男	伊奈波

氏名	出身中学
高橋 益夫	東山（三輪）
中村 隆好	長良
牧野 大修	伊自良
棕梨 実	伊奈波
棕橋 元一	長良

■第10回 秋季岐阜県高等学校野球大会

地区大会敗退

■第5回 春季岐阜県高等学校野球大会

地区大会敗退

■第40回 全国高等学校野球選手権岐阜大会

1回戦

不戦勝

2回戦

○

長良

3

—

2

多治見

準々決勝

●

長良

0

—

9

県岐商

■現役当時の様子や概況など

この頃はチームとしては弱体期であったと思う。前後の学年を見ても、部員が一学年数人という学年が殆どで、この年10人のメンバーが居たのは非常に珍しかったが、小川キャプテンの統率力で、よくまとまっていた。

夏の大会は、多治見高校に接戦の末やっとのことで勝利し、いよいよ県立岐阜商業との一戦。当時2年生の高木守道に連続3塁打を打たれるなど、一方的な試合で幕を下ろした。この年の県大会出場校は29校だった。

なお、サード兼ピッチャーの棕橋元一は、後に名古屋商科大学硬式野球部の監督を務めている。

（平成22年7月作成）